

森のテクノ

NO.85

秋号

2019.10.15



目次

●「木の時代」	1	●令和元年度(一社)高知県山林協会通常総会開催	8
高知県林業振興・環境部副部長 小原 忠		(一社)高知県山林協会 総務部長 田島 史一	
●山を診る	2	●第19回 森や自然についての 子ども達の作文コンクール	10
(株)四国トライ 事業部長 吉村 典宏			
●「県庁生活での経験」	4	●テクノ ア・ラ・カルト ー課題と対応:「番外編」ー	20
高知県須崎林業事務所 森林土木課 主査 山本 裕太		(一社)高知県山林協会 技術専門官 長澤 佳暁	
●令和元年度 民有林森林土木優良工事・民有林林道 維持管理・民有林森林土木工事木材活用設計コンクール の審査にあたって	6	●県立甫喜ヶ峰森林公園から	22
コンクール審査委員長 高知県林業振興・環境部 治山林道課長 二宮 栄一		指定管理者 (一社) 高知県山林協会 森林環境学習チーム長兼甫喜主任 黒津 光世	
		●動 向	23



「木の時代」

高知県林業振興・環境部副部長

小 原 忠

我が国は、戦後植林されたスギやヒノキなどの森林資源が豊富にあり、伐採して利用する時期となっています。しかしながら、国内の建築物は鉄やコンクリートで建設されるものが多数を占めています。

一方で世界に目を転じますと、欧米を中心に各地で高層ビルや大規模な建物などが木造で計画、建設されており、世界には、これまでに 23 棟（2018 年末現在）の木造の高層ビルが建築され、現在、世界一高い木造ビルは、ノルウェーに高さ約 85 m、18 階建ての建築物があります。また、欧米では、高層の木造ビルだけでなく、様々な建築物に木が適材適所に使用され、その利用が広がってきていることを、建築関係の専門家などが紹介しています。

このように木の利用が広がりはじめたのは、CLT などの新しい木質建材の開発や木造建築技術が進歩したこと、建物に木材を大量に使用することによって長期に炭素を貯蔵し、「都市（街）の森」として地球温暖化の防止に貢献すること、さらに木材が人をリラックスさせるなどアメニティー効果があることなどが、その背景にあるようです。

我が国でも、大手住宅メーカーが 2041 年に 70 階建ての超高層ビルを木造で建築する構想を昨年発表し、国内外で反響を呼んでいます。また、大手ゼネコンやデベロッパーが相次いで技術開発を行い、積極的に木造建築への取組を進めています。

こうした中、昨年 3 月には経済同友会が「地方創生に向けた“需要サイドからの林業改革”」を提言し、民間の中高層オフィスビルの木造化や木質化に向けて、木の良さや国産木材を使うことの意義などの理解醸成のためにフォーラムを開催するなど、経済界においても新たな活動が始まっています。

また、今年 7 月には、全国知事会において、政府への「国産木材の需要拡大に向けた提言」と併せて、都道府県自ら行動する指針として「国産木材需要拡大宣言」を採択し、取り組みが開始されるなど、全国的にも国産木材のさらなる活用に向けた機運が高まってきています。

本県でも、産業振興計画の中で、県産材の需要拡大に向け、事務所や店舗などの非住宅建築物の木造化や木質化を推進するために全国に先駆けて設立した「CLT 建築推進協議会」や関係団体などと連携し、普及に向けたフォーラムの開催、建築事例による技術やノウハウの蓄積と技術研修会を通じた普及、技術的なサポートなど積極的に取組を進めています。また、新たな木質建材の開発やそれを利用したモデル建築物の整備などへの支援も行っておりましました。

こうした取組や関係者の努力が実り、現在、県内にも中層の木造建築物や木をふんだんに活用した建築物が徐々に増え、県民の皆様にも目に触れる機会が多くなってきていると思います。

今後、木造率が低い（3 階以下の低層建築物（木造率 14.1%））非住宅建築物の木造化を拡大して木材需要につなげていくためには、企業など施主の皆様、木の良さや木造建築に関する耐震性・耐久性などへの理解醸成に取り組むとともに、非住宅木造建築の設計ができる建築士を育成していくことが必要となります。

本県では林業大学校に木造設計コースや、社会人の学び直しの場としてリカレントコースも開設し、建築士の育成に取り組んでいるところです。今後は全国にある建築関係団体などとも連携し、建築士の育成につなげていきたいと考えています。

折しも、企業は「持続可能な開発目標（SDGs）」への対応、さらに環境や社会、企業ガバナンスを重視する「ESG 投資」の拡大を背景に、環境や社会に配慮する時代となっています。木（木造建築）の持つ環境や社会に対するメリットを活かすことで、企業価値を高めることにも貢献できると考えています。そのためには木材利用に関する情報提供や提案をしっかりと行っていくことが重要となります。

最後に、本県をはじめ全国の様々な取組が木造建築の拡大への扉を開き、令和が“木（国産木材）の時代”になることを目指し、これからも皆様とともに取り組んでいきたいと考えています。

山を診る

(株)四国トライ 事業部長 吉村典宏

1. はじめに

自然が引き起こす土砂災害は、意外と同じ場所で繰り返し発生しています。それは、簡単に言えば土砂災害を起こしやすい地層がそこにあるためで、地盤を構成する地層の特性や構造を反映しているからに他なりません。つまり、地層は土砂災害の大きな素因ということになります。そして、その地層を反映して作られたものが地形となるわけです。この「山を診る」と題した技術講座は、長い年月の中で造られた土砂災害の「痕跡」をテーマにして山の見方を学んでいただくものです。今回は、河原に転がる巨石が物語るものと題して、事例を挙げてその原因などを探ってみたいと思います。

2. 高知県の河原に転がる巨石の種類と分布

川に転がる巨石は、地質帯ごとに異なります。例えば、三波川帯を流れる吉野川流域であれば珪質片岩類やアルバイトなどを含む塊状の緑色岩類が多く、また秩父帯を流れる仁淀川流域ではチャートや塊状砂岩、また四万十帯を流れる四万十川中流や安田川・奈半利川などでは塊状の砂岩が主体となっています。これ等の岩石の特徴としては、当然ですが「硬質・塊状」がキーワードになっています。このうち、硬質成分は、石英や曹長石など珪酸分が多いもの、また塊状については、層理面や節理・ヘキ開といった不連続な面を持たないかそれが少ない岩石を基本としています。巨石の分布は、下流域より上流域に多く見られます。これは、大きくは2つの理由が考えられます。ひとつは、上流ほど河床勾配が大きく河床や河岸浸食が活発でその生産量が多くなること。またひとつは、流れ下るなかで下流域になる程、磨耗や破壊作用を多く受けるためと考えられます。

3. 河床に分布する巨石の生産場

それでは、河床に転がる巨石はどこからやってくるのでしょうか。写真1は、一級河川仁淀川の支

流上八川川の河床に見られるチャートの巨転石群です。



写真1 上八川川に散在する巨転石群（野地）

直径は、大きいもので5mを越すものがあります。実際に、上流からこのような岩石が水流によって運ばれてくることはなかなか無いものと考えられます。図1は、写真1の巨石が転がる周辺斜面の地質分布図※1を示しています。柿色のハッチング部分がチャートの分布域に当り、写真1地点の周辺でも両岸斜面に複数のチャート層が存在していることがわかります。



図1 周辺地質図※1（○印地点が写真1地点）

写真1に見られる巨転石の多くは、河原に転がる通常の石に比べ角ばっている特長を含めると「近隣から供給された岩石」であることが理解できます。その供給イベントの種類については、図1に記載された地すべり地（馬蹄状櫛模様）が多いことや崩

落(チャートのような硬質岩塊では地震動も一要因)によった可能性が高いといえますが、遠因はやはり河川浸食による河床低下に伴って周辺斜面が応力開放を起してきていたことが要因と考えられます。次は、そのイベントについて紹介します。

4. 巨石群の供給事例紹介

高知県では、高速道路が損壊した昨年の7月豪雨を初めとして過去に多くの台風や集中豪雨による土砂災害を受けてきました。これ等の土砂災害は、少なからず河川に多くの土砂や巨石を運び込んで来ています。筆者が記憶に残る土砂災害は、昭和50年の台風5号によるものです。この台風は、8月16日宿毛市を通過し17日にかけて高知県中部の仁淀川流域に大量の雨をもたらし、死者・行方不明者77名、全壊家屋1,760戸など土砂災害による甚大な被害を生じさせました。雨量で見ると、上八川では24時間雨量792mm、時間最大雨量133mm、2日間の総雨量は819mmという記録が残っています。**写真2**^{*2}はその昭和50年に上八川川流域で発生した斜面崩壊の状況です。場所は、越知町宮ヶ奈路の対岸斜面で、写真に見える道路は国道194号線です。この災害では、対岸の宮ヶ奈路集落で2名の方が亡くなり家屋にも大きな被害を生じています。その被害は、特異な被害なので紹介しておきます。



写真2^{*2} 宮ヶ奈路対岸崩壊

それは、人的被害に会われたお家の方の証言として、「台風の大雨で上八川川は堤防を溢れんばかりに流れていた。夕方4時ごろ、対岸で大きな崩れが発生し土砂は一気に川に流れこみました。その土

砂は、川の水を押し津波のような現象を生じてその水が集落を襲って家族と家を流したのですよ」とお話して頂きました。



写真3 写真2の現在の様子

写真3は、現在の被災現場です。斜面は、一部コンクリート構造物が見えますが、多くは何事も無かったように草木に覆われています。

しかし、下の河床(**写真4**)を見ると多数の巨石が残存し当時の被害の大きさを今に伝えています。現在、これ等の巨石群は複雑な急流河川を作りアユの絶好の漁場となっていますが、背景にはそのようなイベントがあったこと、また、他の巨石群が散在する場でも過去の災害発生場であった可能性があることやその背景を想像されてはと思います。



写真4 写真2の現在の河床(巨石群残骸)

参考文献

- ※1 地理院地図「伊野図副」 産業技術総合研究所
- ※2 高知新聞社台風5号 '75

「県庁生活での経験」

高知県須崎林業事務所 森林土木課 主査 山本 裕太

1 はじめに

私は平成 27 年に入庁して 5 年目になり、現在の事務所を含めて 3 回の異動を経験しています。

最初の平成 27 ～ 28 年度の 2 年間は中央西林業事務所で森林土木事業を経験し、次の平成 29 ～ 30 年度は林業環境政策課にて、主に「環境先進企業との協働の森づくり事業」という事業を担当しました。そして、今年度より森林土木事業に復帰しています。

2 林業環境政策課での仕事について

順序が前後してしまいましたが、先に林業環境政策課での経験からご紹介します。

皆さんは「環境先進企業との協働の森づくり事業」をご存知でしょうか。この事業は、CSR（corporate social responsibility）活動の一環として、企業や団体、市町村（森林組合）、高知県による 3 者または 4 者でパートナーズ協定を締結し、森林の再生と地域との交流を行うことを目的としています。

企業や団体の方々から協賛金をいただき、市町村は主に市町村有林を対象に手入れの行き届いていない森林の整備（整備は主に森林組合が行う。）と間伐体験等を行う交流活動の場を提供します。そして県は企業や団体、市町村（森林組合）の総合調整を行います。



協働の森パンフレット

パートナーズ協定を結ぶための協定式を開催する際には、企業のトップと市町村長、知事の日程調整から始まり、協定書の作成・協定式の運営準備を行いました。ミスは許されないという思いから、協定書や当日必要な資料にミスがないか等、とても気を使いました。

また、交流活動に参加した際には、参加者の間伐サポートや交流活動の様子を HP に掲載するなどといったことを行いました。交流活動は 10 ～ 11 月の休日に集中して開催され、開会式では多くの人の前であいさつをすることもあり、人前に出るのが苦手な私は最初とても緊張したことを今でも覚えています。

これらのこと以外にも様々な業務を経験し、とても大変な 2 年間であった反面、とてもやりがいのある業務で、協定関係者はもとより多くの県庁内の他部局の方々等とも知り合うことができました。また、以前に比べて人前で話すことにも抵抗がなくなり、県庁職員として、とても成長することができた 2 年間だったと感じています。



交流活動の様子

3 森林土木事業での仕事について

さて、森林土木事業についてですが、今回で 3 年目となります。

主に、溪流の浸食防止や山脚の固定、土砂の流出

防止等の目的で作られる治山ダム設計・監督業務を担当しています。

学生時代より林業について学んでいた私ですが、とにかく測量関係の講義が苦手であり、入庁して森林土木事業に配属されたと聞いたときは、やっていけるのかという不安で一杯でした。

いざ働き始めてみると多くの専門用語が用いられ、指示内容が理解できないというところからのスタートでした。

分からないことだらけで毎日パニックになっていましたが、上司・同僚に恵まれ、助けを借りながら言葉の意味や業務内容について調べたり、同僚の現場に同行し、分からないことは積極的に質問するよう心がけ、知識を深めました。

入庁1・2年目の中央西林業事務所では、困ったときは1人で抱え込むのではなく、周囲の協力を得ながら業務を遂行することが大事であることを学びました。

今年の4月より森林土木事業に復帰しましたが、積算システムの変更や作図ツールのシステム変更などを受け、早速苦戦を強いられている毎日です。

今年度担当する現場は6件あり、現在は昨年度から引き継いだ現場が1件完成し、5月に発注した現場がやっと動き出したという状況です。

監督業務を担当するにあたり、理想としては、完成した現場をイメージしながら現場条件や施工方法についての指示等を出していきたいのですが、まだまだ実力不足で至らぬ点ばかりです。

現場が動き出すと当然業者の方から質問が来ますが、自分の考え方に自信がないときには、その場で曖昧な返答はせず、一度上司に指示を仰ぎ、できるだけ早く回答をするようにしています。

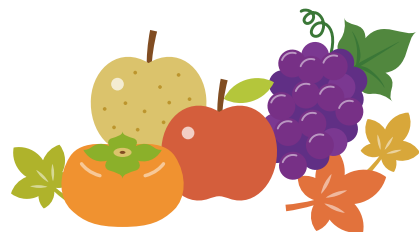
また、以前に森林土木事業を担当していた時よりも受け持つ件数は増え、求められることも多くなっていくと思いますが、完成した現場をイメージできるようになるとともに、潜在するリスクを先読みできるよう、自分の現場だけでなく同僚の現場への同行や各種研修に参加し、積極的に技術力を磨いていきたいと思っています。



担当した現場の写真

4 最後に

当面は、森林土木事業に関する知識を高めていくことになると思いますが、高知県庁の職員として働く以上、今後も様々な業務を経験することになると思います。希望している業務だけでなく、できればやりたくないと感じる業務を担当する日も来るかと思っています。しかし、しんどい思いをするということは、その分成長できるチャンスだと捉え、様々な経験を積み、より高い次元で職務を遂行できるようになるとともに、県民から信頼を得られるような職員になりたいと考えています。



令和元年度 民有林森林土木優良工事・民有林林道維持管理・ 民有林森林土木工事木材活用設計コンクールの審査にあたって

コンクール審査委員長

高知県林業振興・環境部 治山林道課長 **二 宮 栄 一**

一般社団法人高知県山林協会主催による、令和元年度 森林土木優良工事等コンクールが開催され、去る 8 月 30 日の山林協会通常総会において入賞者が表彰されました。

本年度、コンクールの対象となった森林土木工事は、平成 30 年度中に完成した民有林治山工事 51 件、民有林林道工事 16 件でした。また林道維持管理部門は、県下 983 路線のうち供用開始後 3 年以上経過し、延長 2,000 m 以上のものが対象となりました。

この中で、各林業事務所長から推薦のありました工事及び路線を厳正に審査しました結果、優良工事治山部門 18 件・林道部門 5 件、林道維持管理部門 1 件、木材活用設計部門 2 件、計 26 件を入賞とし、表彰することに決定いたしました。



横浜林地荒廃防止工事

表彰を受けられた皆様方に改めてお喜びを申し上げますとともに、それぞれの部門での真摯な取り組みに対しまして心から敬意を表します。

優良工事の審査に当たりましては、工事の出来栄を主に、施工技術・施工管理の適否等を選考基準とし、また、近年の環境保全に対する関心の高まりの中で、自然環境に配慮した工法や施工方法が求められていることから、環境への配慮や周囲の自然景観との調和がとれていることも審査のポイントにな

りました。さらに、県産木材の利活用が、間伐を推進し森林の各種機能を高めると共に、県内木材関連産業の振興にも寄与することから、木材を積極的に活用した工事についても評価をしました。



旭・天狗高原線 2 工区

次に、林道維持管理部門では、林道が適正に維持管理されていることに加え、市町村及び地域住民の方々が維持管理に積極的に取り組まれていることなどを評価のポイントに審査をしました。



寒風大座礼西線

最後に、木材活用設計部門では、工法の技術的な合理性、景観や自然環境との調和、県産木材活用への寄与などを総合的に判断し評価をしました。



久保川 No.4 林地荒廃防止工事

近年の公共事業においては、品質を確保し、優良な事業者を育成するため、企業の皆様方の施工技術や施工方法そのものが、工事の受注に影響を与えるようなシステムになってきております。施工者の皆様方におかれましては、今後とも技術力の研鑽や施工においての創意工夫に努められ、目的物を立派に仕上げていただきますようお願いいたします。

さて、近年全国各地で集中豪雨や地震などにより、

多くの災害が発生しており、高知県においても昨年の7月豪雨や、本年8月の台風10号により、森林や林道施設に甚大な被害が発生しました。加えて近い将来発生するとされる南海トラフ地震でも多くの山地災害が予想されます。

これらの懸念の中、県民の生命財産を守り、県土を保全するため、治山対策をさらに進めて行く必要があります。

林道は本年最終年となる第3期産業振興計画において、原木生産のさらなる拡大や、森林吸収源対策となる森林整備を行うための、林内路網の基幹となります。また、国道や県道・市町村道が災害により通行止となった際には迂回路としての役割を果たし、地域生活に欠かせない施設です。

森林土木事業は、県民の安心・安全や林業の振興・成長産業化の礎となる事業です。今後も、ご理解と事業の推進へのご協力をお願いしまして、簡単ではございますが、審査報告とさせていただきます。

民有林森林土木優良工事コンクール受賞者一覧 (治山の部)

和食山地災害防止工事

株式会社 鉄建ブリッジ
一谷復旧治山工事 有限会社 岩 城 組
中内地すべり激甚災害対策特別緊急工事 有限会社 ムクタ工業
西梶ヶ内地すべり激甚災害対策特別緊急工事 株式会社 谷 渕 組
中尾谷復旧治山工事 有限会社 武 政 建 設
西川地すべり激甚災害対策特別緊急工事 株式会社 四 国 ト ラ イ

下地藏寺予防治山工事

明 治 建 設 有 限 会 社
山本復旧治山工事 大 川 建 設 株 式 会 社
奥谷復旧治山工事 株式会社 三 和
北の川予防治山工事 株式会社 四 国 ネ ッ ト
上折渡復旧治山工事 岩 井 建 設 株 式 会 社
広野復旧治山工事 杉 本 土 建 株 式 会 社
久保川 No.4 林地荒廃防止工事

有限会社 松 元 建 設
横貝林地荒廃防止工事 有限会社 渡 辺 建 設
東向復旧治山工事 株式会社 四 万 川 総 合 建 設
横浜林地荒廃防止工事 豚 座 建 設 株 式 会 社
福良復旧治山工事 株式会社 小 島 組
大島山地災害防止工事 山 本 建 設 工 業 株 式 会 社

民有林森林土木優良工事コンクール受賞者一覧 (林道の部)

森林基幹道小川線 2 工区工事

有限会社 誠 興 建 設
森林基幹道寒風大座礼東線 1 工区工事 有限会社 山 中 建 設
幹線林道旭・天狗高原線 2 工区工事 株式会社 仁 淀 工 業
森林管理道シバゴヤ線 1 工区工事 株式会社 西 森 建 設
幹線林道中村・大正線 3 工区工事 豚 座 建 設 株 式 会 社

民有林林道維持管理コンクール受賞者一覧

寒風大座礼西線

い の 町

民有林森林土木工事木材活用設計コンクール受賞者一覧 (治山の部)

中尾谷復旧治山工事

(中央西林業事務所) 安 藤 悠 大
久保川 No.4 林地荒廃防止工事 (須崎林業事務所) 松 本 和 泰

令和元年度(一社)高知県山林協会通常総会開催

一般社団法人高知県山林協会 総務部長 田 島 史 一

高知県山林協会の令和元年度通常総会が、8月30日、ザ クラウンパレス新阪急高知に於いて、高知県からは川村林業振興・環境部長、二宮治山林道課長ほか各林業事務所長、県議会からは桑名議長、林野庁からは長崎屋整備課長、野津山四国森林管理局長、一般社団法人日本治山治水協会・日本林道協会からは高原調査部長、高知新聞社からは伊藤営業局次長、高知県森林組合連合会戸田会長始め友好団体の皆様、国政からは、衆・参両院各先生方の秘書の皆様、など大勢のご来賓の方々のご臨席を賜り、会員（市町村・森林組合）多数参加のもとに開催されました。



挨拶をする大石会長

開会にあたり大石会長から「昨年度は、西日本豪雨など、近年にない自然災害の猛威にさらされた1年でありました。

あらためて、治山対策の充実と災害に強い山づくりの重要性を認識したところです。

本年に入りまして、本格的に復旧工事が進んでおりますし、また、国におかれては、防災・減災、国土強靱化のための、3カ年緊急対策の予算措置を講じて頂きました。

健全な山々を未来に引き継ぐために、持続的な施策の充実を望むところです。

当協会も、微力ではございますが、県や市町村の災害復旧事業の計画や、施工管理のお手伝いをさせて頂いております。

ご列席の皆様におかれましては、どうか当協会の事業活動にご理解を賜り、今後とも、力強いご支援・

ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

次に、本日の表彰行事についてご報告申し上げます。

まず、「森や自然についての小中学生の作文コンクール」は、本年度で第19回目を迎え、今年も、県内27の小中学校から、286点の、ご応募をいただきました。



作文コンクール授賞式

審査委員長をお願いしました、高知新聞社営業局の伊藤次長様始め、審査員の皆様には、大変お世話になりました。心よりお礼を申し上げます。

表彰を受けられます小中学生の皆さん、本当におめでとうございます。



受賞した子ども達

作文に込められました「思い」を、これからも持ち続けていただきますよう、お願いいたします。

次に、本年度も、「民有林森林土木の優良工事」等の各コンクールを実施いたしました。

審査委員長をお願いしました、高知県の二宮治山林道課長様始め、審査員の皆様には大変お世話になりました。

本席をお借りしまして、お礼申し上げます。

表彰を受けられます企業の皆様、本日は誠にありがとうございます。

平素からの並々ならぬご努力に対し、深く敬意を表しますとともに、今後益々の社業のご発展を祈念いたします。



優良工事コンクール等受賞者

次に平成30年度の決算状況についてご報告します。まず、一般社団法人への移行により、義務づけられております公益目的事業につきましては、本年度も計画どおり実行することができました。

また、収益部門のコンサルタント事業につきましては、県や会員の皆様から、災害復旧事業などの測量・設計等の業務を順調に受注できましたことにより、まずまずの決算をあげることができました。本席をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

本日は、平成30年度の事業報告及び収支決算、令和元年度の事業計画及び収支予算など、7件の議案をご提案申し上げますが、なにとぞ適切なご審議を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりにりましたが、公私ともに極めてご多忙中、ご臨席賜りました関係各方面の皆様方に、重ねてお礼申し上げ、開会のご挨拶といたします。」との挨拶がありました。

続いて表彰式が行われ、森林の重要性や山村振興と森林整備事業の啓発を目的とした「森や自然についての子ども達の作文コンクール」では、山の大賞（最優秀賞）を受賞した子ども達を表彰しました。

ご家族の皆さんや先生方にもご参加頂き、大変和やかな表彰式となりました。

続いて、民有林森林土木優良工事・林道維持管理・

木材活用設計の各コンクール表彰が行われ、優良施工業者といの町、県職員の方々が表彰を受けました。

ご来賓として出席頂いた川村林業振興・環境部長、桑名県議会議員、林野庁長崎屋整備課長、四国森林管理局野津山局長、一般社団法人日本治山治水協会・日本林道協会高原調査部長の皆様からご祝辞を賜りました。

休憩の後、議事に移り、議事では平成30年度事業報告及び収支決算、平成30年度公益目的支出計画実施報告書、令和元年度事業計画及び収支予算等全7議案が原案通り承認されました。

任期満了に伴う役員の改選では、全理事・監事の方々が再任されました。



また、総会終了後の理事会において、代表理事及び業務執行理事が選定され、大石会長理事（仁淀川町長）を始め現体制の方々が重任されました。

7号議案では、次の事項が満場一致で決議され、関係各方面に要望活動を行うことといたしました。

- 一、国土の保全と国民生活の安全を図る治山対策の積極的推進
- 一、森林の整備や中山間地域の活性化と生活環境の改善を図る路網整備の積極的推進
- 一、森林・林業・木材産業振興策の積極的推進
- 一、公有林経営の健全化の推進

総会終了後の懇親会には、森下林業振興・環境副部長、櫻井森づくり推進課長、久保林業環境政策課長、金子木材産業振興課長、山中林業環境政策課長補佐、中島治山林道課長補佐、治山林道課の幹部の皆様、上治県議会議員にもご参会頂き、大変ご多忙の中ご参会頂いた中谷元衆議員議員からは、ご祝辞を賜り、皆様のお陰様をもちまして、盛会裡に終ることができました。

第19回 森や自然についての子ども達の作文コンクール

審査委員長講評

高知新聞社 営業局次長 伊藤 能一

「緑の山、清らかな川、青い海に囲まれた高知。」

その大自然の中で、子供たちの元気な歓声が聞こえてくるような作文をたくさん読ませていただき、私も元気をいただきました。川遊び、魚獲り、昆虫採集、動物とのふれあい、大きな木との出会いなどを通じ、子供たちがいきいきと目を輝かせて生活している様子が書かれており、そんな子供時代を過ごしている皆さんを大変うらやましく思います。このような自然体験は、将来大人になった時、きっと、大きな財産となるでしょう。

また、自然の大切さと、それを支える人々への敬意、未来へつなぐ提言も多くありました。山を手入れすることが、動物を育て、川を守り、海をきれいにし、魚を育む、そして人間の生活を支え、豊かにしていく。その循環を学び、山を守る人がいることを知り、未来へつなげていく必要性を理解する中で、子供たちの成長を感じました。ゴミのポイ捨て禁止など、身近で自分でできることからやろうという意見には、頭が下がります。

家族や友達とのふれあいを書いた作品もたくさんあり、昨今の SNS 時代の中、あらためて人と人とのふれあいの大切さを感じました。

高知の自然は、全国の中でも、とても豊かです。山は森林率 84% で全国一。川は急峻な四国山地から海に向かって、清流が何本もあり、生き物が溢れています。海は太平洋を黒潮が流れ、カツオを始め、魚が豊富です。そこで生活する私たちは、高知の自然から大きな恩恵を受けながら、生きてきました。この自然を私たちの世代だけでなく未来の子供たちにも伝えていく必要があります。それには、皆さんのような、自然を愛する気持ちがあれば、きつとつなげていけます。皆で力を合わせて、美しい高知の自然を守っていきましょう。



山の大賞（高知県山林協会会長賞）

小学校の部

低学年の部

よしのがわはさいこう

大豊町立おおとよ小学校 一年 かつらがわ ひろと



ぼくのおとうちゃんは、おおとよちょうで「ハッピーラフト」というラフティングのかいしゃをしています。おかあちゃんもかいしゃのおてつだいをしています。

ぼくもやすみのひは、おてつだいをします。あさ、ボートにポンプでくいきをいれて、かたくしたり、ゆかのそうじをしたりします。

おひるになると、おきやくさんがかえってきます。ぼくは、おきやくさんのくつをそろえてだします。

ときどき、がいこくのおきやくさんもきます。そんなとき、ぼくは、（えいごがはなせたらなあ）とおもいます。いつか、えいごではなしをしたいです。

ぼくは、まいとし、ラフティングをします。ラフティングは、とてもたのしいです。

はじめてのときは、（こわい）とおもっていたけど、おとうちゃんとのったらあんしんできて、きもちがよかったです。だから、いっぺんでとりこになりました。

よしのがわのみずは、きれいできらきらひかっています。

ときどき、ながれがはやくなったり、いわにあたりそうになったりして、どきっとすることがあります。おとうちゃんたちは、たのしんでいます。

パドルのみずが、おひさまのひかりで、にじいろにみえるときがあります。

かわぎしからは、ことりのこえやせみのこえがきこえてきます。たのしくなります。

おとうちゃんは、

「よしのがわは、ラフティングにさいこうや。」といいます。ぼくも、そうおもいます。

ことしのなつも、おとうちゃんといっしょにラフティングをいっぱいしたいです。

はやくおおきくなって、おとうちゃんのかいしゃのおてつだいをしたいです。

コメント

お家が、家族で、吉野川のラフティングの仕事をしている、かつらがわくん。お父さんの仕事の様子や、ラフティングの楽しさが大変分かりやすく書かれていました。お手伝いもしていて、偉いなあと感じます。家族のことが大好きなことも、よく伝わってきました。大きくなったら、お家のラフティングの仕事のお手伝いをしたいとのことなので、将来は、おとうさん、おかあさんと吉野川の楽しさをみんなに、ぜひ伝えていってください。

低学年の部

はくびしんのあかちゃん

大豊町立おとよ小学校 一年 ひらいし しずく



にゅうがくしきのひ、トマトをつくっているけんちゃんが、

「しずくちゃん、いいもんあげよう。」

といって、ちいさいどうぶつをもってきてくれました。

それは、はながピンクで、はなからおでこまでしろいせんのある、はくびしんのあかちゃんでした。

けんちゃんが、おかあさんとはぐれて、みちでまいごになっていたのをつかまえたのです。

つかまえるとき、あばれたり、かみついたりしないように、はりがねでわさをつくってつかまえたので、くびにはりがねがついていました。

おかあさんは、そのまま、おりにいれました。

はじめは、おかあさんがミルクをあげるとき、かみつきそうにしたけど、おりこうさんでした。とってもかわいいので、なまえをわたしのだいこうぶつの「ピーナッツ」とつけました。

みっかぐらいすると、だっこともできるようになったので、おかあさんが、はりがねをとってくれました。まいにち、ピーナッツとあそんでいました。

けれど、さんかんびのひ、がっこうからかえると、ピーナッツは、おりのなかでうごきませんでした。しんでいました。わたしは、ないて、ないて、ずっとなきました。おかあさんもないていました。

すぐ、おはかをつくりました。きつとてんごくにいったとおもいます。

わたしのいえは、やまのなかにあります。いろんどうぶつにあいます。そのどうぶつたちは、わるさをするので、おかあさんもりょうをします。でも、わたしは、やまのどうぶつたちとなかよしになりたいです。

コメント

はくびしんの赤ちゃんをもらった、ひらいしさん。もらったときの様子や、「ピーナッツ」と名前をつけて、育てはじめた時の、うれしさがとても上手に書けていました。残念なことに死んでしまったとき、お母さんといっしょに泣いた場面は、悲しい気持ちがよく伝わってきます。その優しい気持ちが、読む人に感動を与えています。これからも、動物や自然を通して、命の大切さを学んでください。

低学年の部

山にまもられている

土佐清水市立足摺岬小学校 二年 ^{のむら}野村 りょうた

「山の木がなくなったらどうなる。」

と校ちょう先生が、ぼくたちにしつもんしました。ぼくは、どうなるかわかりませんでした。そのこたえは、しょくじゅたいけんをしてからわかりました。

木をうえるじゅんばんには、まず、あなをほります。つぎに、木をうえ土をかけます。さいごに、足でふんでポケットを作ります。そのわけは、雨水がたまりやすくするためです。

ぼくは、ひとりで木をうえました。木のねが多くて、あなをほるのがたいへんでした。ぼくのうえたくぬぎの木もいつか、大きくそだってたんすやつくえにつかわれるといいなと思いながら、木をうえました。

みんながうえた木が、台風や大雨にまけないで、しぜんの力で元気にそだってくれたらうれしいです。

しょくじゅたいけんをしてわかったことは、きれいな山がないと海にえいようがいけないから、きれいな海もないということです。

そして、一ばんおどろいたのは、山と木がぼくたちをまもってくれていたことです。木をうえるときじゃまだった木のねが、雨をすって、山の土がくずれないようにしていました。山と木があると、どしゃくずれをふせいでくれるのがわかったので、山や木はすごいなあと思いました。

山のしごとをするおじさんたちがいることもはじめて知りました。ぼくたちをまもってくれたり、生活にやくだったりしている山や木をそだてて、まもるしごとをしていていました。しょくじゅたいけんをして、山や木、海、生活のことを考えることができました。

ぼくは、木のうえ方をおぼえたので、お母さんやお父さんにも教えてあげて、いっしょにしょくじゅたいけんをしたいです。ぼくたちをまもっている山や木のことをたくさんの人に知ってもらって大切にしたいです。

コメント

くぬぎの木の植樹体験を通じて、山と木の大切さを学んだ野村くん。植樹の様子が分かりやすく表現できていて、一生懸命に植えている姿が、目に浮かんでくるようです。また植樹をきっかけに、山が災害から私たちの暮らしを守ってくれていることや、山を守る仕事をする人たちがいることなど、新しい気づきの喜びが、生き生きと伝わってきました。これからも山の大切さの勉強を続けていってください。

中学年の部

自然大好き

佐川町立佐川小学校 四年 掛 水 駿 丞



ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんの家は仁淀川町の高い山のとっぺんにあります。手をのばすと空にとどきそうなところですよ。近くに家はあるけれど、だれもすんでいません。だから、二人だけでくらしています。佐川にも家がありますが、山でくらすのが好きだそうです。ずっと長くくらしていると、はなれたくないのだと思います。ぼくもおじいちゃんとおばあちゃんの家が大好きでよく遊びに行きます。おじいちゃんが庭にあるかきの木にひもをかけて作ってくれたブランコに乗るのが楽しいです。山に向かって大きくこぐと空を飛んでいるみたいにはく力があります。

また、庭から山に向かって大きい声「おーい」とさけぶと山びこがかえってきます。山にだれかがすんでいるみたいで、ふしぎな感じです。大きな声を出すとスカッとするので家族みんなで大声を出します。

春には、お茶つみをします。おばあちゃんと家族みんなできょう争します。一番早いのはおばあちゃんです。すごいなあと思いました。つんだお茶は、大きなべでいって、それをおじいちゃんが、機かいでもみます。そして、ぼくがシートを広げて干します。ぼくはこのお茶が大好きで一年中のんでいます。

畑には、玉ねぎ・じゃがいも・かぼちゃ・なす・トマト・おいもなどたくさんの野菜を植えていてぼくたちもわけてもらって食べています。とてもおいしいです。

でも去年は、さるがいて大切な野菜を食べてしまいました。とくにおいもが全めつでした。でも、おじいちゃんとおばあちゃんもさるには、おこったりはしないのでえらいです。

今年も、たくさんのおいもを植えていました。さるに食べられないといいなとぼくは思います。自然がいっぱいのおじいちゃんとおばあちゃんの家は、楽しいことが、ワクワクします。

コメント

仁淀川町のおじいさんおばあさんの、山の暮らしを書いた掛水君。家の様子を「手を伸ばすと空にとどきそうなところにあります」と表すなど、表現力が優れています。手作りのブランコの迫力や、お茶摘みの競争、畑で作ってくれる野菜のおいしさなど、山の暮らしのワクワクした喜びがたくさん盛り込まれ、読んでいて、こちらも楽しい気持ちになります。これからもおじいさんおばあさんと楽しい思い出をたくさん作ってください。

高学年の部

一生の宝物

四万十町立興津小学校 五年 お小 しま嶋 いっ一 べい平

ぼくの住む興津は自然が豊かで、山や海にはたくさんの生き物がいます。

中でも、一番好きなのは海です。「小室の浜」とよばれるきれいな砂浜があって、砂の中にはたくさんの貝やカニがかくれています。

その中でぼくが一番好きな生き物は、「ゴイソ」です。アサリによく似た二枚貝で、取り方も一緒です。ゴイソは波打ちぎわより少し手前にいて、点々と表面に小さい穴が空いているので分かります。そこを手でほって、当たった感しよくがしたら土ごとグワツとつかみます。たまに息つぎに顔を出すので、その時に素早く取るのがぼくの好きな取り方です。毎年五月ぐらいから家族や友達とよく取りに行って、バター焼きにしたりお汁に入れたりして食べています。とってもおいしいのでたくさん取ろうと思います。

砂浜の他にも、いそに行くときがあります。冬はカメノテやカラスグチなどたくさんの貝が取れます。春になるとふのりやさくらのりが取れます。もっとあったかくなると泳ぐのがぼくの楽しみです。貝を取ったり、魚を見たり、とっても楽しいです。たまに小さい魚やエビや、ほんのたまにタコが見られます。内海ではニナも取れます。夏だけでなく冬もいそで貝を取ったり、お昼ご飯を食べたりすることもあります。いそで食べるご飯は、いそのにおいがしておいしく感じます。

こんなふうに、ぼくは興津の海が大好きです。こんなにも豊かな海があるのは、興津を囲んでいる豊かな山のおかげです。山が作り出してくれた栄養を、川が海へと運んでくれるからです。ぼくにとって興津の海は、一生大事にしたい宝物です。これからも山や自然を大事にして、豊かな興津の海をずっと守り大事にして、豊かな興津の海をずっと守りぬいていきたいです。進んでゴミ拾いをしたり、ゴミを捨てないようによびかけたり、自然の素晴らしさを伝えたりしていきたいです。

コメント

興津の「小室の浜」について書いた小嶋くん。興津の豊かな自然が、毎日の遊びや生活の中に、しっかりと結びついている様子が、きちんと書かれています。貝、カニ、のり、魚、エビ、タコなど、たくさんの生き物も登場し、楽しい作文です。また、海だけでなく、山への感謝もあり、自然への深い理解が読み取れます。地元の海を「一生の宝物」といえる人は幸せです。宝物の興津の海を、これからも大切にしてください。

高学年の部

小さな命と自然の大切さ

南国市立久礼田小学校 五年 ^{すぎ}杉 ^{やま}山 ^{だい}大 ^き起

モンシロチョウがさなぎから羽化しました。それは、僕が広島であった野球の大会から帰った五月五日の事です。羽のかわいたちょうが、光と風を感じてまどにくっついているのを見つけたので、夕方、にがしてあげました。

次の日、キャベツの葉にくっついているさなぎを七つ採ってきました。その内二つは、羽の色がすけて見えたので、すぐに羽化しそうでした。

その次の日の朝、さなぎのからのそばに、羽化したちょうが止まっていました。すぐに二つ目も羽化しました。やっぱりまどに止まっていました。戸を開けて手をさしのべると、羽を広げてモンシロチョウの黒い点を見せながら、空に飛んで行きました。

次に僕は、青虫からさなぎになるのを見たくなくて、丸々と太った青虫を採ってきました。青虫は、二時間くらいすると、体の横に角の様なものができて、半日くらいでさなぎになりました。

消毒をしない優しい畑は、モグラやミミズ、テントウ虫などに出会える宝箱の様です。自然環境を大切にする事で、小さな命が守られていると思いました。

ところが、五月ごろ南方から飛来するヤイロチョウは、すみかの広葉樹林が伐採などで減り、絶滅危惧種にもなっています。そのため、森林の保護活動を行い命を守っている事を新聞で知りました。鳥や小動物、昆虫などに優しい自然環境だと森が元気になります。森を大切に育てる仕事をしている人達がいる事を忘れない様にしたいです。僕は、愛媛県に行った時、西日本ごう雨で水害を受けた地域を見て、自然の力ってすごいなと思いました。でも、森の働きによって、自然災害も起きにくくなるし、僕たちの生活も守られます。

僕は、モンシロチョウの育つ畑など、自然や小さな命をこれからも大切にしたいです。

コメント

モンシロチョウから、自然の大切さを書いた杉山君。さなぎから羽化するまでを、よく観察し、数字を交えて、しっかり記録できています。また、チョウだけでなく鳥や小動物など、さまざまな生き物への興味と愛おしさを感じられ、優しい気持ちが読み取れます。さらに、小さな命が、森を育て、災害を防いでいることに気づくなど、自然の大きな役割がうまく展開できています。これからも、身近な生き物を大切にしてください。

山の大賞（高知県山林協会会長賞）

中学校の部

林業ってすばらしい

土佐市立高岡中学校 一年 ^{いけ}池 ^だ田 ^{えい}瑛 ^{いち}一

ぼくの家は参道にあり、周りには木がたくさんあり、山もあります。ぼくはそんなこの町が今ではすごく大好きです。

しかし、幼いころ、ぼくはこの町がきらいでした。理由は、幼いころ虫がきらいだったので、この町には森林がたくさんあるから虫もたくさんいるからです。だから幼いころは、都会に生まれたかったなあ、こんな町いやなあと思ったこともありました。

しかしその気持ちを一変させることが起きました。それは、小学生のころ林業をしている人を見たことです。その姿を見て、はっとしました。理由は、裏方として森林を守ってくれているのに、虫がおるから森林はいやだとか、この町はいやだとか森林をなめていたことがはずかしくなったからです。それからは森林を守るという思いで仕事をしていている林業の人達に感謝するようになりました。

そして、ぼくはもう一つ林業の仕事について学んだことがありました。それは小学生のとき社会の授業で林業について学んだことです。

今、高知県は全国で森林の面積が第一位で八十四パーセントもあります。それくらい森林が多い高知県を支えてくれているのは、林業の人達だということが分かりました。先生が、

「森林が無くなったら土砂崩れが起こったりするんだよ。」

と言いました。ぼくはびっくりしました。今までそんなこと考えもせずにいたけれど、そこで初めて森林の大切さについて学びました。林業の人達がいるからこの町は成り立っているということが分かりました。

ぼくは、色々な学びがあって、林業について興味をもちました。図書室に行くと、林業の本を読んでみました。すると、林業の仕事のしんどさが分かりました。働いている人達はやりがいがあるそうです。それは、自分が理想とする山を作っていけるということだそうです。ぼくは、林業はすばらしいなと思いました。ぼくは将来、林業の仕事をして高知県を守ろうと思いました。さらにぼくは気付けばこの町が大好きになっていました。こんなに森林に囲まれていて、ぼくの周りにもたくさん森林があって幸せだと思います。そしてこんな大好きな森林を守っている林業の仕事のすばらしさが分かりました。

現代社会では科学技術が急激に進歩しています。どんどん社会は便利になり、今まで不可能だったことが可能になっていく中で、昔から変わらない大切なものがあることを忘れてはいけないと思います。そして、その変わらないものを支え続けている人達がいることも忘れてはいけません。

森林を守っていくことは、これからの僕達が引き継いでいかなければなりません。

大好きなこの町に、これからの未来に、今と変わらない美しい森林を残すこと。それが、僕達の責任ある役割だと思います。

コメント

林業の大切さを書いてくれた池田君。幼い頃は虫が嫌いで、都会に生まれたかったようですが、林業をしている人を見たことをきっかけに、森林の大切さに気づき、生まれた土地が大好きになっていく気持ちの変化が、分かりやすく書かれています。林業に興味を持ち、図書館に行き、自ら学ぶという姿勢も素晴らしいと思います。森を守る方々への感謝の気持ちから、将来林業に就き、高知を守りたいという希望を、うれしく読みました。

中学校の部

大川村での思い出

大川村立大川中学校 一年 ^{もり}森 ^{やま}山 ^そ想 ^ら楽

私は、今年の春、大川村に山村留学生として入学しました。

春の大川村は、大きな山にピンク色の桜の木が混じっていて山がひととき目立ちました。自然が作りだす景色がきれいで、目がはなせなくなりました。

大川村には山だけではなく、山すじからダムに向かって細い川が流れています。友達と一緒に釣りに行った時に、魚が上から見えて小さな水族館のようでした。川釣りは初めてだったので、見よう見まねでやっている和一匹のニゴイがかかりました。魚だから大した力はないだろうと思い、気を抜いていたら、どんどん引っ張られていき逃げられてしまいました。本当はくやしくてたまらないはずが、魚がかかった事がうれしくてたまりませんでした。私はいままで自然で遊ぶ機会があまりなかったので、

このような体験ができて「大川村に来てよかった」と思いました。

また、留学生でキャンプをして、自分たちで火起こしをする時にまず大量の木が必要で、集めるのが大変でした。火がついたと思えば水気がある木で火が弱まったり、火が落ちつくまで、とても不安でした。

一日目の夜のメニューは、焼きそばでした。とちゅうで、台がわりにしていたレンガが倒れたり、目に煙がしみたりして、とても大変だったのを覚えています。けれど、出来あがって食べたらおいしくて、作るのには時間がかかるのに、食べるのは一瞬だと感じました。

夜は、地面に寝転んで星を観察していました。周りに街灯などがなかったので、より星が明るく見えて、最高でした。

次の日は、朝食がパン、バナナ、コーンスープで、パンを焼いたりして楽しかったです。昼はチャーハンで、木を集める人、食材を切る人、いためる人に分かれて、行いました。チャーハンも、それなりにうまくできて満足でした。キャンプの感想は、友達と協力をしてご飯を作ったりして、いい思い出となりました。

それから少したってから、自炊活動をしました。五人一組の班で行いました。今回のメニューは、鳥の唐揚げでした。普段生肉にはさわらないので、親の手さばきを思い出しながらやっている出来ました。みんなに好評だったので、うれしかったです。

キャンプ、自炊は自分達で工夫したりして行っただけで、これからの生活にもやくだつと思いました。

留学生は、朝につどいというものがあります。つどいは、ラジオ体操をしたり、やまびこあいさつという、大きな声で山に向い、「おはようございます」といいます。その時に、思うのは、毎回同じ場所ですつどいをしているのに、ある日はきりがかかっていたり、雨が降っていたり、寒かったり、暖かかったりと、毎日ちがう気候なのが、気候が変わりやすい山の上ならではの、面白いと思いました。朝のつどいをする、ねむ気が覚めて気持ちがいいので、やはり人は朝日を浴びたりするのはいいという事がわかりました。

私は、まだ大川村に来て少ししかたっていませんが、もうたくさんの思い出が出来て、ふりかえると大変な事もあったけど、その分ここでしか出来ない楽しい事ができたので、これからも楽しい思い出を作っていきたいと思います。

コメント

大川村に山村留学している森山さん。大川村の美しい自然の様子が、巧みな文章で表現され、読み手に大川村に行ってみたいなあと感じさせます。キャンプや自炊では、食事を作る大変さと楽しさが書かれ、みんなでおいしく食べる場面は、達成感が伝わってきます。朝のつどいでは、さすがに臨場感があり、豊かな感受性に感心します。留学を通じて、大川村での体験が、将来の成長に、きっとつながっていくだろうと思いますので、これからも、がんばってください。

中学校の部

吾北の財産

いの町立吾北中学校 二年 筒井 菜 央



私は、去年、仁淀川でラフティングをしました。クラスの人々と一緒に清流仁淀川に岩から飛び込んできました。今年はカヌーに行きました。昨年と同様、美しい透明度の高い仁淀川をみんなでたん能してきました。私は、カヌーやラフティングを山の学習の一環として実施してくれる吾北中学校が大好きです。吾北中学校はのどかな風景が広がっています。授業を受けていると、鳥のさえずりや鳴き声が聞こえてきます。天然のウグイスやホトトギスの声をバックミュージックにして授業が受けられるのですから、これほどぜいたくな環境はありません。窓を開けると入ってくるそよ風。眼下にはブルーの川。都会の人から見ればお金を出してでも身を置きたい環境なのかもしれません。

私はそんな吾北で生まれ、育ってきました。私の家の周りも自然豊かな場所に建っています。清少納言を真似して随筆が書けてしまうほど風情があるところです。棚田が広がり、蛍が舞い、美しい星空がみられる場所。私は、ここで育ってよかったと心から思います。だからこそ、私は自然を大切にしたいと思います。

近年、森を伐採し、ビルやマンションを建てているのをよく耳にします。キャンプに行った友人から聞きましたが、後片付けもせず、ごみもそのままにして帰る人を見かけたそうです。自然が豊かでないとキャンプもできないのに、自分だけが楽しめればいいという人がいることに幻滅します。キャンプだって、バーベキューだって、自然の中でやってこそ楽しいものです。私たち人間は、自然に場所を使わせてもらっている存在です。借りているのだから、きれいにしてお返すのは当たり前です。その常識を持っていない人たちにキャンプをする資格はないと思っています。豊かな山があつて、きれいな川があるのは当然ではありません。いろいろな人が長い時間かけて、保全し、整備してきたからこそ、私たちの目の前に豊かな山や川として表れていることを忘れてはならないと思います。

私は、自然とは、私たちが生きていく上でなくてはならないものだと思います。森があることで、私たちは呼吸することができます。さらに、生活が豊かになるための木材を確保することができます。私が学校で毎日使っている机といすは、木でできています。私はそれが普通だと思っていましたが、担任の先生から、普通は鉄でできていると聞いて、びっくりしました。吾北中に通えてよかったと思いました。

私は、吾北の豊かな自然を守るために、植林活動や川の清掃活動に積極的に参加したいと思います。吾北の財産は、「豊かな自然」と「自然を思いやる心」です。私はこれからも吾北に住み続けます。そして、自然を思いやる心を持ち続けたいと思います。

コメント

吾北の自然について書いてくれた筒井さん。吾北中学校での生活が、仁淀川のラフティングや鳥の声が聞こえる中での授業などの模写を通して、美しく書かれています。吾北の自然を、清少納言を真似して随筆が書けてしまうほど風情がある、という表現に、強い吾北愛を感じます。自然を守ることの大切さも説き、植林や清掃活動に自ら参加したいという思いに感心しました。

テクノ ア・ラ・カルト

— 課題と対応：「番外編」 —

一般社団法人高知県山林協会 技術専門官 長 澤 佳 暁

1 はじめに

私事で恐縮ですが、永井荷風の「断腸亭日乗」（日乗＝日記）をまねて随筆風日記を時々書き綴っています。今回は「課題と対応」の番外編として、平成 30 年に綴った一部を紹介します。（以下、基本「である体」の記述となります。）

2 「秋風と 夫婦げんかは…」

12 年前、あるコンサル団体に勤めていました。当時、徳島県内を 5 年で一巡する林分成長量プロット調査を受託していて、メンバーは植物に詳しい経験者ほかの 4 名が木頭村（当時）の古ぼけた旅館に泊まって…

H30.2.10

植生調査で山間部の宿に泊まっていた。植物に詳しい学識経験者として 70 歳半ばの元校長先生がメンバーの中にいた。夕食の後、4 人分の夜具が一定の間隔で並べられた大広間で灯りを消す前のしばしの憩いの時のこと。

メンバーの 1 人：「先生、昼間、山であれほど吹いていた風も夜には収まりましたね。」

元校長先生：「昔から『秋風と 夫婦げんかは 夜には収まる』というのを知らないのかね？」
ささやかな笑いが夜のしじまに響いた。

10 年前の山の宿…歩くとミシミシと音をたてる黒光りの廊下、蜘蛛の巣が頭にかかる和式便所、そしてリング状の蛍光灯 1 つの大広間…元校長のおとぼけ風ながら真実を突く会話…どれをとっても懐かしく、効率とは反対の「無駄を解する余裕」が当時はまだあったのでないだろうか。

3 「生きがいについて」

H30.5.15

「100 分 de(で)名著」という番組がある。古今東西、有名な著作を番組ガイド役と研究者等の解説と意見をワンユニット 25 分として組み立て、それを 4 回放送する構成となっている。

今月は神谷美恵子の「生きがいについて」が放送されている。20 年近く前に西宮の義兄が送ってきた本ということもあって、改めて番組を見ることにした。

神谷美恵子の著作も名著とされながらも、気軽な読書対象になりがたい気むずかしさがある。

放送されているので、改めて拾い読みしたがやはりむづかしい。拾い読みで、希望や信頼に関して一般的な見方とは違う記述があるのに気づいた。

『希望や信頼の念は必ずしも建設的な方向にのみ働くとはかぎらない。そのなかに知らぬ間に傲慢な自負心や自己陶醉がしのびこむこともある（中略）。自己に対するきびしい省察の眼をにぶらせ、他人への思いやりを忘れさせ、人間性の矛盾にみちた複雑さに対してひとを盲目にする傾向もある。』

自負心や陶醉は自戒の対象とすべきということだろうか。

さて、本作品の大半は、ハンセン病施設における患者達との交流ということから考えると、生きがいの本質は「人格的な愛」であり、人それぞれ、その形態は違うものと解せることができる。

それでは、「ひと、それぞれ違うもの」の中身は何かといえば、「ひと、それぞれに大切なものを見つけること」となる。

大切なものの代表は家族（もしくは自分自身）であり、自分が関わりを持つ社会の構成員である「ひと」である。そこに家族愛や「ひと」に対する人間愛がある。家族もしくは「ひと」を包み込む人格的な愛を自分のものにすること、それを「生きがい」とするのは 1 つの理想だろう。

しかし、理想は理想、道を極めた人でないとむづかしい気もする。

4 好々爺（こうこうや）

H30.7.22

東京のある事務所から、この26日に企画提案のプレゼンを行う予定とのメールが届いた。

今回の企画提案は東京の当事者の努力と労力が大きかった。その応援メンバーの1人に過ぎなかったのにメールをもらうと、この歳になっても嬉しい気分となる。

「礼メール 感慨深き 歳になり」



先週から山頭火の句集を読んでいる。

山頭火の句の1つ「分け入っても 分け入っても 青い山」ふうに言うと、「読んでも 読んでも 句ばかり」、つまり解説がないので、山頭火の気持ちは想像するしかない。

上の自作の句は、提案の結果はともかく、自分なりに汗をかいた感慨は、この歳になると若いときより深いものがある…と言葉を並べた。

通勤途上ハンドルを握りながら、句の「歳」と関連して「好々爺」の言葉が浮かんできた。好々爺とは「善良でやさしい老人」のことなので、私とはベクトルを異にする。

勤務先の同僚達も、60歳前後になると頭髮が互いに気になるようだ。酒の場での話題の1つが、「髪染め」か「煌々と輝く頭」のどちらかだ。

幸か不幸か？ 現時点ではそのどちらも他人事。「好々爺」にも「煌々爺」にも縁がないのである。

（西条市にある石鎚神社社務所に掛かる石鎚山を拝する山頭火の版画。「もりもりと盛りあがる雲へあゆむ」や「春の雪ふる女はまことつくしい」など味のある句が配されている。）

5 空想（空にあって想う）

20代後半の3年間は昼は仕事、夜間は短大生でした。夜、宿舎に帰り、聴く音楽は中学生の頃から聴いていたロック系で、今も「幻想飛行」(more than a feeling)を聴くと当時を思い出します。

「幻想」という曲名、バンドリーダーがMIT(マサチューセッツ工科大)出身ということに加え、シンセサイザーが流行の当時にあってアコースティックな音作りがそこにありました。

「幻想」、そして「空想」、20代はとうの昔ながら今も魅せられる言葉です。

H30.10.21

毎年開催される研究発表会や打合せで3日間の上京…夕方、高知への便に搭乗する。

離陸後、飛行が水平に移る頃 はるか下方の暗灰色の雲 そして夕闇迫る空

うす黒く波打ち広がる雲の彼方 夕日のなごりの茜色の地平線

茜色からグラデーションとなって 青く続く太陽の末裔

小窓に浮かぶ 「自然は偉大な芸術家」

天国に空があれば、今、小窓に広がるような芸術的な空だろうか

その人々は空を見上げて 芸術の偉大さに 安らぎを感じるだろうか

空想は 雑念のない心のすき間に芽を出し、無限へと展開する

いつの間にか小窓の空は 漆黒の空間に変わろうとしていた

県立甫喜ヶ峰森林公園から

指定管理者 一般社団法人高知県山林協会
森林環境学習チーム長兼甫喜主任

黒 津 光 世

とてつもなく暑いかと思えば、ず～っと雨が降り続き、やっと雨があがったと思ったら、どしゃぶりの雨が降り…夏休みどころではなかったのではないのでしょうか。と、お山の上から思う今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回も年末までのイベント、企画展をちゃちゃっとご紹介します。詳細未定が多く申し訳ありません。

◆イベント◆

●お山のお祭り

甫喜ヶ峰フェスティバル 2019

今年も、地元の方、ボランティア団体などの協力を得て、音楽会、クラフト体験コーナー、飲食コーナーなどをご用意してお待ちしています。ぜひお越しください！

日 程	11月10日(日)(小雨決行) 10時～15時
対 象	どなたでも ※入場は無料ですが、有料のコーナーもあります。その際は、各コーナーでお支払いをお願いします。



●昔遊び

日 程	11月17日(日) ※後日ホームページでお知らせします。
-----	---------------------------------

●キルト教室

香美市在住の小松和恵さんの指導で、1日で仕上げられるキルト小物作りに挑戦できます！

日 程	12月8日(日) ※後日ホームページでお知らせします。
-----	--------------------------------



●森あそび

～クリスマス編～

冬の森でクリスマスパーティー！

日 程	12月15日(日)(小雨決行) 10時～14時
対 象	小学4年生までのお子さんと家族
参 加 費	300円(2歳まで無料)
定 員	先着20名

◆企画展◆

●レンズが捉えた美しいチョウの写真展

～飛翔写真をまじえて～

いの町在住の山本裕水さんが全国各地で撮影したチョウの写真約30点を展示します。

日 程	10月12日(土)～11月10日(日) 9時～16時30分
場 所	学習展示館内
入 館 料	無料 ※期間中休館日はありません。

※11月末から12月末にかけては、冬のパッチワークキルト展を実施する予定です。
お楽しみに！



〈申し込み・お問い合わせ〉
県立甫喜ヶ峰森林公園
TEL:0887-57-9007

動 向

令和2年度林野庁公共事業予算概算要求

令和2年度の林野庁公共事業予算概算要求額は、一般公共事業費で対前年度比122.0%の2,229億円で、治山事業費が740億円（122.0%）、森林整備事業費が1,490億円（122.0%）となっている。

（一社）高知県山林協会通常総会開催

山林協会は、令和元年度通常総会を8月30日（土）クラウンパレス新阪急高知で開催した。

役員の改選が行われ、全役員が再選された。（総会の詳細は、本文参照）

総会終了後理事会を開催し、新執行体制として会長理事、副会長理事、常務理事を選定した。（別表の通り）

（別表）

会 長 理 事	大石 弘秋	仁淀川町長
副 会 長 理 事	池田 三男	津野町長
副 会 長 兼 専 務 理 事	安岡 泰平	正会員以外
常 務 理 事	小野川岳仁	正会員以外
理 事	上村 誠	北川村長
理 事	法光院晶一	香美市長
理 事	和田 守也	土佐町長
理 事	森山 真二	梼原町森林組合長
理 事	中平 正宏	四万十市長
理 事	岡田 順一	大月町長
監 事	小田 保行	越知町長
監 事	山崎 出	馬路村長



表 紙 写 真

撮影場所 香美市土佐山田町
県立甫喜ヶ峰森林公園
【明るいヒメシャラの森で暖まろう!】
写真提供者 小松 俊夫氏

日 程

- 10月18日 第13回協働の森フォーラム（高知市）
- 10月26・27日 もくもくエコランド2019 森林環境学習フェア（高知市）
- 11月3日 第23回治山・林道・体験ツアー（甫喜ヶ峰森林公園他）
- 11月6日 第54回全国木材産業振興大会（かるぽーと）
- 11月10日 甫喜ヶ峰フェスティバル2019（甫喜ヶ峰森林公園）
- 11月27日 日本林道協会理事会・総会、治山林道コンクール表彰式（東京都）
- 11月30日・12月1日 四国の森づくりinかがわ2019（香川県）
- 12月中旬 林野公共事業推進本部設置（永田町ビル）

森のテクノ〈No. 85〉2019年10月15日 発刊

発 行 一般社団法人高知県山林協会

〒780-0046 高知市伊勢崎町8番24号 TEL 088-822-5331 FAX 088-875-7191
<http://www.kochi-sanrin.jp/>